

大変だ！

早いものでもう師走。新年度がスタートした直後の5月に発生した箱根・大涌谷の火山の事象への対応に四苦八苦したことの印象があまりに強い一年でした。(本格的な回復の動きはまだ現在進行形ではありますが。)  
「大変」な思いをされて、小田原箱根はまさに一体の経済圏であること、そして、その基幹は観光であることを改めて痛感している会員さんは多いこととお察しします。

今回のことで明らかになった小田原・箱根の観光の課題をしっかりと分析し、知恵を集めて、小田原・箱根の観光のあり方、いわば、「(仮称)小田原・箱根観光ビジョン」を提言していきたいと思います。皆さんがそれぞれ感じたであろうインパクトが冷めないうちに速やかに取り掛かりたいと思います。

さて、「大変」という字を観ていて気がついたことがありました。大きく変わると書きま  
す。大変だと感じるのは自分の置かれた環境が大きく変わるからだということは間違いな  
いと思います。人は慣れた環境にいることが楽ですから自分からはあまり変化を求めない  
ものです。ですから、無理やり異なる環境に置かれると苦痛を感じます。そして「大変だ！  
大変だ！」と騒ぎ、時にはパニックに陥って、頭がフリーズし適切な行動がとれなくなっ  
てしまいます。

また、「大変」にはネガティブことだけでなく、もう一つの意味があるのではないかと思  
います。それは大きく変えるチャンス、大きく変わるチャンスだということ。普段からな  
んとなく感じていた、しかし、あえて取り組む勇気のなかった問題点に思い切って向き合  
い、変えるべきは勇気をもって変えるチャンスなのではと。

新しい年を目の前に、そんな観点で自分の商売とこのまちの在り方を見つめ直しチャン  
スにしなくてはと思う年末です。

会頭 鈴木悌介